

まちの安全をつくる 「思いやりのみどり」



学校を取り巻くブロック塀をステキにリフォーム(日野第一小学校)



学校の周辺を、子どもたちにやさしい環境に

学校周辺の道路は子どもたちが通学路として、生活道路として毎日通る道です。ところがブロックでできた高い塀がめぐらされていたり、歩道がない上に電信柱が道にはみ出していたりと、見通しが悪くなっている箇所が意外と多いものです。

右の写真でも、オレンジ色の点線部分は、以前は手前の灰色のブロック塀が角まであり、見通しの悪い交差点となっていました。学校の角地に当たる部分は通常利用されていない事も多いもの。そこで角の部分进行削り、ブロック塀で囲まれた部分を緑地にしてみると、見通しがよくなり、子どもたちが安全に通る事ができるようになりました。そんな子どもたちにやさしい空間「安全緑地」を広めているのが、NPO 法人日本公開庭園機構代表の佐藤哲信さんです。



角まで塀があったら、こちらから白い車は見えない



学校のフェンスをセットバックして、通学路を確保

よいことは、どんどん真似したくなる！

佐藤さんご自身の地元である国立市と隣の日野市で、安全緑地を広げる活動をスタートしました。日野第一小学校周囲のブロック塀のリフォームでは、塀の高さを低く抑え、見通しがよくなるように所々にスリットを入れ、さらには、地域の歴史風土を感じさせるべく、塀の上部に瓦を使用しています。その機能性、デザイン性ともに高く評価され、都市緑化基金緑のデザイン賞で「国土交通大臣賞」を受賞しました。

日野市では、その後に改装工事を行う学校で、同様に塀や校門に趣向を凝らしたデザインを取り入れたり、学校の周囲のフェンスをセットバックして狭かった通学路を拡幅するなど「安全緑地」の考え方を積極的に取り入れていきます。「よいこと」は、どんどん真似して取り入れたくなるものなのです。

いつものまちを、点検してみよう！

大田区でも真似して「安全緑地」を作ってみたい！と思った私たち。でもその前にまずは、この考え方を広めなくちゃ！ということと、実際にまちを歩いてみて、まちのどこがどんな風に危険なのか、実際に歩いて点検してみよう！ということで、大森第三小学校のご協力をいただいて「まちあるき」をしました。

3つのチームに分れて、事前に決めたコースを1時間かけてじっくり回り、主に交差点の見通しにポイントを絞って、まちを点検して歩いてみました。大人が目線だけでなく、子どもたちの目線を意識してしゃがんでみると、普段は気にしなかった電柱やブロック塀など、視界を遮る物の多さに気づきます。戻ってから、グループごとに結果をマップに落とし、子どもたちから発表してもらいました。3月13日の環境フォーラムでは、この様子をご報告します！



E加減 de エコライフ

身近で探せるおいしい野草

懐かしい言葉「原っぱ」も最近では少なくなりました。けれど、公園や校庭の片隅、植え込みの陰、多摩川の川原など、私たちの生活のすぐそばで草たちはたくましく生きています。早春、必ず見つけることができ、食べられる野草をいくつかあげてみます。

土の少し軟らかそうなところには「ノビル」が生えています。堤や植え込みの陰を探してみましょう。ニラに似た臭いのノビルは、根ごとシャベルで掘って白い鱗茎をとりましょう。そのまま鱗茎に味噌をつけて食べるとお酒のおつまみにぴったりです。ノビルの若葉は煮浸しや卵とじ、鱗茎をつけたまま葉をくるりと結んで天ぷらに。

次におすすめはギシギシ。食べられるのは大きな葉の中心の丸く巻いた新芽だけをナイフなどで根元から切り取ります。ぬめりのある若芽は天ぷらにすると食感もよく少し酸味があり、おいしい野草です。ゆでて水にさらして酢味噌あえやおひたしにもできます。

野草茶もかんたんに作れておいしい飲み物です。ヨモギとクコは若葉を洗ってから盆ざるに広げたり、糸で縛ってつるしてからからになるまで乾燥させます。乾いてからお鍋でさっと空煎りをしておきます。一握りほどを500ccくらいの熱湯で煮出すとヨモギ茶はさわやかな味、クコ茶はほんのり甘く、子供やお年寄りにも癖が無くおいしく飲めて、健康にも良い野草茶です。

ここにあげた野草はいくら採取しても良いものですが、3~4月頃の虫のつかない芽生えのころに採取することをおすすめします。

(古屋のり子『多摩川下流の植物(六郷川の河原の野草)』著者。ライフワークとして多摩川下流の植物の研究や保全、子どもたちに植物について教えるなど、幅広く活動。現在は植物をモチーフにしたイラストをパソコンで制作している。「多摩川の自然を守る会」会員。)



ギシギシの若芽



ヨモギの若芽

探検! 発見! 耳寄りみどり

洗足池公園

洗足池公園(6.7ha)は、約60%を池が占め、湧水池で江戸時代から近郊の景勝地として知られていました。昭和3年に東急池上線の開通に合わせて、公園として整備されたものです。

池を一周すると樹木は40種もあり、付近の施設等を合わせると60~70種に及びます。池にはキンクロハジロ、オナガガモ、ユリカモメが泳いでいました。花見時には賑わう桜山、松の木が多い松山、コナラ林、ハンノキ林があり、水生植物園、弁天島もあります。

この場所は、大田区の自然観察路「池のみち」に指定されています。洗足池児童館の子供たちが、巣箱を10個掛けていますが、6個以上の箱にシジュウカラの営巣した跡が見られるとのこと。池の池月橋では、夏にはカワセミが観察されております。

公園の周りには、八幡神社をはじめ、この地をこよなく愛した勝海舟の墓、西郷隆盛の留魂碑、妙福寺、洗足池図書館もあり、自然や歴史に興味のある方は、是非訪れてください。(上田志朗)

【アクセス】東急池上線「洗足池」下車すぐ



初夏の水生植物園



巣箱から顔を出すシジュウカラ

四季の庭から



↑ JR 大森駅近くの商店街入口の花壇

厳しい寒さ続きですが、もう光の春を感じるこの頃です。間もなくガーデニングシーズンを迎えます。私たちの活動も、春を迎えるとともに、区内各所の花壇の植替えに向けての花苗育てがスタートします。

最初の頃は大量の花苗をすべて購入していましたが、やはり自分たちの手で育てた苗を花壇で愛でながら育てたい、との思いから、種まきを始めました。ところが必要とする株数の多さと生育具合のばらつきからうまくいかず、5年ほど前から計画生産に向くプラグ苗(セル苗ともいう)方式を取り入れました。現在では年間約3万株…内訳としてはプラグ苗 90%、種まき 10%…を育てられるまでになりました。



【プラグ苗による花苗生産のメリット】

★計画生産ができる

開花時期…ポット上げ(黒いビニールポットへの植替え)後約 40 日で開花
株数…必要な数量(ロット単位)を注文し、確保することができる

★良質で均一な苗ができる

★成苗に比べて低コスト(価格は品種によって異なる)

近年サカタのタネやタキイ等の家庭園芸向けの種苗カタログでも取り扱いが増えて入手しやすくなりました。数量としては多くなるので、ご近所と分けるなど上手に活用するとお得です。

【それでもやっぱり、種まき、大好き！】

一方で小さな種を蒔き、出てきた芽を大事に育てる種まき育苗の楽しみも格別です。種は密にならないよう丁寧に蒔き、発芽するまでは新聞紙などで表面を覆い発芽したら新聞紙を取り除きます。本場が 5-6 枚出たところでポット上げ。その後はプラグ苗と同じ要領で育てます。つい過保護にして水をやりすぎるとひよろひよろの苗になりますので、要注意。丈夫な苗作りが美しい庭や花壇を作ります。(川口 良夫)



↑ プラグ苗の取り出し※



↑ 取り出されたプラグ苗※



↑ 種まきによる育苗



↑ 花苗の育成風景



写真※印：岐阜県学校間総合ネット HP より借用

花とみどりの お気に入り♪

Book



育てておいしい
はじめてのゴーヤー
+ 島やさい図鑑
主婦の友社 刊
1,365 円(税込)

夏を涼しく過ごす工夫として、窓辺にネットを貼ってつる性の植物を育てる「緑のカーテン」。今年もいよいよ準備の季節が近づいてきます。せっかくならば、涼しいだけでなくおいしいカーテンに！ということで注目されているのが「ゴーヤー」です。ニガウリとも呼ばれ、その名の通り苦みを持つ野菜なのですが、最近では苦みを抑えた品種もあり、これからの季節、ホームセンターや園芸店の店頭で各品種の苗が並びます。そんなゴーヤーの育て方を中心に、食べ方、緑のカーテンの取り組み方、そして「なぜ緑のカーテンなのか？」といったウンチクも学べる本になっています。美しい写真の島やさい図鑑もステキです。ぜひ手にとってみて！(牧野ふみよ)

Shop



クレア
ホーム&ガーデン
日野市日野本町
7-10-6
TEL 042-582-1313

「女はいくつになっても夢見る乙女だなァ」…この店を訪れるたびに、ガラにもなくそう感じてしまいます。イギリスから材料を取り寄せて建てたという本格的な洋館の中は、レストランとアンティーク雑貨のショップ。建物はもちろん、周辺の小屋やゲートなども全て、オーナーのこだわりの素材による手作りです。ホンモノの持つオーラに包まれ、うっとり、ゆったりした気分に浸れます。何度かランチタイムに訪れていますが、注文してから待ち時間に散歩するのがとても楽しみ。見ているだけでもワクワクします。もちろん、食事もとてもおいしいのです。イングリッシュガーデンは自身の庭づくりの参考にもなります。植物の苗も販売しています。(牧野ふみよ)

春の活動予定

詳細は下記
連絡先まで

◆2/21 (日) エコフェスタ・ワンダーランド (山王小学校)

今月も恒例、タマネギ染めとタマネギクイズコーナーです!

◆3/7 (日) 花とみどりのつどい 13:00~15:00

「多摩川の植物に魅せられて」講師: 古屋のり子氏

◆3/13 (土) 環境フォーラム「まちの安全を思いやりのみどりで」 13:30~16:30

会場は大田区民ホール「アプリコ」地下展示室。
多くの協力団体の皆さんの活動紹介展示とシンポジウムを行います。

◆3/25(木) 自然観察会 (東京大学田無演習林) 10:00~15:00

集合は西武新宿線田無駅改札。参加希望の方は必ずお申込を!

◆4/4 (日) 花とみどりのつどい (田園調布せせらぎ公園)

「多摩川の河原を歩いてみよう」講師: 古屋のり子氏

◆4/7(水)大森南圃場オープンデー 10:00~12:00

◆4/9(金)南久が原圃場オープンデー 10:00~12:00

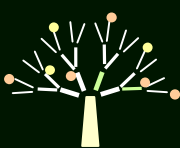
花苗の育成活動を行います。どなたでもご参加いただけます。



昨年環境フォーラムのようす



南久が原圃場オープンデーのようす



About us...わたしたちについて...

大田・花とみどりのまちづくりの活動マップ

田園調布せせらぎ公園

・「花とみどりのつどい」を毎月第一日曜 13時~15時開催。
花やみどりが大好きな人たちの交流の場となっています。

区民プラザ前プランター

・管理活動: 毎週木曜9時~四季折々、きれいな花を楽しめるように心がけています。

南久が原圃場

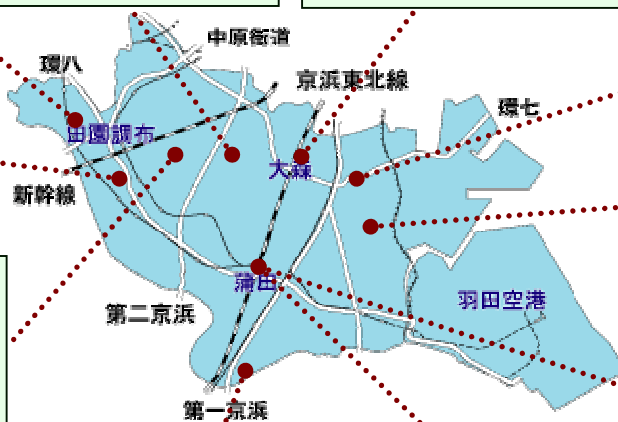
・管理活動: 毎月第2・4 金曜 10時~12時
・地域に植えるための花苗を育てる活動もしています。

南馬込区民農園(2カ所)

・区民農園の整備・管理・運営
・毎月1回、オープンデーとして管理作業や勉強会を行っています。

大森駅前花壇

・管理活動: 毎週火曜日
冬季: 10時~(夏季: 9時~)
・駅前だけでなく、バス通りや商店街にも花壇があります。



このマップの場所以外でも

- ◎保育園、児童館の花壇作り
 - ◎特養の樹木の剪定
 - ◎個人のお庭の手入れ
 - ◎各種セミナー、イベント協力
 - ◎学校の授業への協力
- など幅広く活動しています

平和の森公園

・「街山プロジェクト」として、年間を通じて様々な活動をしています。観察会や勉強会も随時行っています。

大森南圃場

・管理活動: 毎週水・金曜日 9:00~16:00
・保育園児のお散歩コースや地域の方たちの学びの場にもなっています。

六郷土手花壇

・管理活動: 毎月最終日曜日 10時~12時
・近隣町会の皆さんにもご協力をいただいています。

区役所本庁舎前プランター

・管理活動: 蒲田駅前花壇の管理作業の後に実施
・区の玄関なので、常にきれいにと、張り切っています。

蒲田駅前花壇

・管理活動: 毎週火曜日9時~
・駅前だけでなく、西口、東口のバス通りの花壇も管理しています。

お問合せは気軽に
03-3734-7932 まで

会員募集中!

大田区内のあらゆるところで活動しています。花やみどりに直接触れる活動はもちろん、みどりの活動を縁の下でサポートする事務作業や、運搬のための車の運転など、さまざまな活動があります。

特に運転手を大募集中!!

あなたもぜひ、参加してみませんか? 体験入会も歓迎です。お問合せは右記事務局まで。=> 入会案内と最新の会員だよりをお届けします。

編集後記

宝塚市で活動するNPO法人メリーポピンズの会では、毎年園芸ボランティアフォーラムを開催しており、今年は当会からも事例報告の場を頂けることとなりました。参加者の皆さんに当会を紹介できるようにと、開催日に間に合わせて編集しました。(F)

発行: NPO法人 大田・花とみどりのまちづくり

〒144-0051 大田区西蒲田 7-24-7-203

tel & fax : 03-3734-7932

E-mail : npoogc@yahoo.co.jp